### 1 評価対象及び評価者

(1)	評価対象年度	令和 5	)	年度	(2)	整理番号	31
(3)	施設名	和歌山県和歌山マリーナ(クルーザーマリーナ)					
(4)	所管課室	県土整備部	Ä	<b>港湾空港局</b>	港湾	空港振興譚	<b>#</b>
(5)	(5) 評価者(所管課室長名) 課長 安井 英晶						

# 2 評価内容(5段階評価)

(1) 施設効用の最大限発揮	評価	3	(普通。	)
----------------	----	---	------	---

## 評価の理由

- ・近年の船舶の大型化や設備の老朽化に施設が対応できていないこともあり、保管艇数 は減少している一方で、新規利用者も獲得している。また、上下架施設利用回数は増加 している。
- ・ホームページ等WEBコンテンツの拡充やボートショー出展等、利用者増加のための広告宣伝活動を幅広く実施している。
- ・レンタルボートや船舶免許教室等、海洋に関する理解の増進や利用者増加に繋がる自主事業を実施している。

(2)	効率的な管理運営	評価   3	3 (普通。)

# 評価の理由

- ・スタッフな適切な配置や社内教育により、利用者のニーズに沿った対応を自主的に 行っており、滞りなくマリーナ運営を行うことが出来ている。
- ・必要に応じ、業務におけるマニュアルやフォーマット作成に取り組んでおり、管理運営の効率化及び安定した運営を目指した提案や取り組みが出来ている。

### 3 総合評価

- ・利用者への質の高いサービスの提供、広告宣伝活動や自主事業 (レンタルボートや船舶免許教室) の実施による利用者増加等の施設効用の最大限発揮が期待できる。
- ・無理のない範囲での経費の節減による効率的な管理運営が行われている。
- ・施設の適切な維持管理、安定した財政基盤、組織体制や人員配置により管理が安定して行われている。